

『国境離島地域特別措置法（仮称）』の制定を求める決議

平成21年12月7日

国土防衛の要衝であるにも拘らず、今や韓国領と化する惧れの高まりつつある長崎県対馬市の現状を憂え、この防人の島を守るべき「国土防衛対策」と不況に疲弊する対馬の経済振興のための「過疎地域振興対策」との側面を併せ持つ新法、『国境離島地域特別措置法』の制定を強く要望し、対馬フォーラムの決議とするものである。

古代より、外敵による幾多の侵略にさらされてきた長崎県「対馬」は、朝鮮半島釜山に対峙するわが国防衛の要衝であり、防人の島として悲境ともいえる歴史を刻んできた。しかし近年、韓国の思惑と資本とによって、「対馬」は物心両面とも蝕まれ、由々しき状況に陥りつつある。

例えば、昨今の韓国から、大挙来島する観光客の傍若無人の言動や、韓国資本による島内の大型不動産買収、更には、海上自衛隊の駐屯基地の隣地にリゾートホテルなるものを建設し、韓国人観光客の利用に供している状況は、国防の観点からも異常な事態にあるものと言わざるを得ない。

今日既に、我が国領土である島根県の「竹島」が違法に占拠されているが、昨年50名もの韓国国会議員が「対馬」の領有権を主張してきたことを始めとするこれまでの経緯を見るに、「対馬」が第二の「竹島」になる事態が懸念され、日本国民として看過することはできない。

ましてや、わが国の各地より遠く離れた辺境のこの地に赴かれ、代々守備されてきた先人たちの血と汗のご苦労に想いを馳せる時、そのご意志やご恩に報いるのが当然である。

よって、この「対馬フォーラム」を同志と共に立ち上げ、韓国による席卷の実情と危機感について、幅広く日本国民に周知徹底し、防衛への議論を深める。そして、多くの国会議員、地方議員とともに、外国人の土地買収規制強化を含む磐石な国防上の保全施策と国の財政措置等による島の地域振興を図る『国境離島地域特別措置法（案）』の制定に向け総意を結集していく。

尚、本フォーラムにて、今日緊急の重用課題として浮上している外国人地方参政権の絶対阻止に向けて共に強固な国民運動を展開していくものとする。

以上、第1回の対馬フォーラム参加者の総意として、意見書を決議するものである。